

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 6 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2010～2012

課題番号：22252003

研究課題名（和文） 調和社会の政治学：調和的な発展政策の形成と執行の総合的研究

研究課題名（英文） The Politics of Harmonious Society: A Comprehensive Study of the Formulation and Implementation of an Harmonious Developmental Policy

研究代表者

高原 明生（TAKAHARA AKIO）

東京大学・大学院法学政治学研究科・教授

研究者番号：80240993

研究成果の概要（和文）：

本プロジェクトでは、中国における「調和社会」構築に向けた政策的な取り組みを分析の俎上に載せ、利益調整の制度整備をめぐる政治過程の解明に努めた。その結果、社会における「下からの」自発的な、あるいはやむにやまれぬ利益表出の試みが勢いを強めているのに対し、これまで保持してきた絶対的な権力の相対化を恐れる中国共産党の「上からの」対応が遅れていること、しかし中国版ツイッターなど新技術の普及によって「下からの」突き上げも強まっていることが確認できた。

研究成果の概要（英文）：

This project analyzed the political process of reforming and establishing institutions for interest coordination in contemporary China, where supposedly reform policies were to be introduced to create a “harmonious society”. Our study has shown that spontaneous or desperate attempts at expressing interests have gained force “from below”, while the response “from above” by the Chinese Communist Party has been delayed since the Party is afraid of relativizing the absolute power that it has enjoyed so far. We could also ascertain that the proliferation of new technology such as the Chinese version of Twitter contributes to strengthening the pressure “from below”.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	8,800,000	2,640,000	11,440,000
2011年度	10,900,000	3,270,000	14,170,000
2012年度	9,800,000	2,940,000	12,740,000
年度			
年度			
総計	29,500,000	8,850,000	38,350,000

研究分野：社会科学 A

科研費の分科・細目：政治学

キーワード：政治学、現代中国政治、地域研究、政治過程

1. 研究開始当初の背景

中国では驚異的なマクロ経済の高度成長が続いている。そしてそれと同時に、中国政治は転換点を迎えている。これまで共産党は意思決定を独占し、強いイニシアチブで利害調

整と利益配分を行ってきた。しかしグローバル化とともに経済の市場化や社会の情報化、価値の多様化が進み、中国社会における利害関係は複雑化した。社会的弱者（「弱勢群体」）を中心に、社会衝突、集団抗議活動も多発している。こ

うした社会の変化に直面し、共産党は自らの支配の正統性が挑戦を受けていると危機感を強め、「調和社会」(原文:和諧社会)の構築を目標に掲げてバランスのとれた発展の実現に向けた政策方針を打ち出した。そして利害調整メカニズムの改善に着手し、「力による統治」から、「力に頼りながらも合意に基づく統治」への制度転換に取り組んできた。だが、それらの政策は期待された効果を上げていなかった。

2. 研究の目的

格差の是正、弱者の支援、社会主義新農村建設などを中心に、「調和社会」の構築に向けた政策的な取り組みを分析の俎上に載せ、利益調整の制度整備をめぐる政治過程の解明を行うことを目的とした。すなわち、リベラルな知識人や人権派弁護士などの活動、農民および都市労働者の集団的抗議活動、インターネットなどの新興メディアの出現などを「下から上へ」の新しい利益表出のメカニズムとして捉え、政策形成過程におけるその役割に光を当てる。他方、共産党は従来の支配方式に対する「下から上への」挑戦に如何に対応し転換を進めているのか、「上から下へ」の政治過程をも検証し、制度改革に働く政治力学の全容を明らかにする。

理論的な貢献としては、東アジアの開発主義国家に共通する、「大きい政府」の下での利害調整と利益分配をめぐる政治過程の比較枠組みを提示することを目的に掲げた。

3. 研究の方法

研究のアプローチとしては次の三点を柱とした。①既存の利害調整と利益配分のメカニズムを改め、利益の表出、集約そして調整を行うための新制度の導入を要請する中国社会の現状を分析するとともに、新たな制度導入の政治過程を明らかにしようとした。②新しい制度が導入されたことによって、従来の一党支配体制に及ぶ政治的インパクトを検証した。③中国を含む東アジアの開発主義国家に共通する、「大きい政府」の下での利害調整と利益分配の制度改革に関する政治過程の比較を試みた。

具体的には、ほぼ全員が毎年現地調査を実施したほか、中国側研究者とのコラボレーションによる社会調査、さらには毎年国際ワークショップの開催によって海外の研究者や活動家らとの意見交換を活発に行った。

4. 研究成果

取り上げられた問題領域は、それぞれの研究者の問題意識に従って、経済改革政策、都市住民と農民の格差、人民代表大会制度、住民の集団的抗議行動と労働組合の役割、弁護士による権利擁護活動、市民社会(中国語では「公民社会」)の形成とソーシャルメディアの普及、社会の現状に対する都市住民の満足度、共産党員の構成及び党員機能の変化、

地方財政制度改革およびエネルギー外交政策など多方面に及んだ。

総じていえば、本研究の結果として判明したのは以下の諸点である。第一に、社会レベルにおける「下から」のダイナミズムが確かに勢いを増しているのに比べ、中国共産党の「上から」の対応が遅れているという事実である。そして第二に、その遅れが多くの場合、これまで保持してきた絶対的な権力の相対化を恐れる共産党の側の抵抗によることであつた。しかし第三に、遅いながらも分野によっては前進がみられる要因としては、中国版ツイッターやブログなどの新しい技術が、地方権力との衝突における「下から」の突き上げを強めていることがあつた。

このように言うと、状況は研究を開始した三年前と基本的には変わらないように思われる。しかし、農民や都市住民の権利擁護運動に実際に従事している弁護士やジャーナリストとのワークショップでの交流や実地調査などを通して、社会がいわばダイナミックなプレート移動を起こしており、それが変化を拒む一党支配体制と大きな摩擦を生じていること、そして社会の一部では将来の「激震」につながりかねないエネルギーがたくわえられていることなどが理解されるにいたつた。

調査研究を通して得られた知見は、次項に列挙されている通り、三年のプロジェクト期間中に公刊された数多くの論考に既に発表されている。また、研究者各人の個別の論考に加え、本プロジェクト全体の最終報告書が既に完成している。さらに、2013年度アジア政経学会全国大会(6月半ばに立教大学にて開催)に於いて、「調和社会の政治学」と題する分科会を設け、本研究の成果の一部を披露して広く学界からの批判を仰ぐことになっている。

そして、残念ながら東アジアの国々を対象とした政治過程の比較枠組みをつくるには至らなかったものの、フィリピンやベトナムなどこれまでネットワークが弱かった国の研究者との関係が強化できたことは今後につながる重要な成果となつたといえる。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計81件)

- ① 巖善平、教育公平与戸籍身分—基於上海市中小學生問卷調查的實証分析(周海旺共著)、『中国人口科学』(中国社会科学院・中国語)、査読有、第2期、2013、123—130
- ② 武田康裕、日中の戦略的關係と多国間安全保障制度、防衛大学校紀要、査読有、106、2013、80—97

- ③Rumi Aoyama、(Chapter 9: China, Japan and Asian Regional Integration, Niklas Swannstrom & Ryosei Kokubun eds., *Sino-Japanese Relations: Rivals or Partners in Regional Cooperations?*、査読無、巻なし、2013、145-165
- ④中岡まり、「選抜された」代表と「選出された」代表—人民代表大会制度をめぐる中国共産党の支配の問題点、常盤国際紀要、査読有、17、2013、31-52
- ⑤高原明生・増田雅之共著、「第10章冷戦終結後の日米安全保障体制と日中関係 1993-95年」、日中関係史 1972-2012 I 政治、査読無、巻なし、2012、289-313
- ⑥高原明生・伊藤剛共著、「第16章民主党政権誕生以降の日中関係 2009-12年」、日中関係史 1972-2012 I 政治、査読無、巻なし、2012、487-501
- ⑦高原明生、中国におけるガバナンス—中国共産党の位置と能力、菱田雅晴編著・中国共産党のサバイバル戦略、査読無、巻なし、2012、103-126
- ⑧巖善平・周海旺・周安芝共著、中小学男相対弱体化問題研究—以上海為例、社会科学（上海社会科学院・中国語）、査読有、12月号、2012、84-93
- ⑨園田茂人、社会—調和社会建設の試みとその帰結、国際問題、査読無、4月号、2012、27-37
- ⑩唐亮、中国モデル—理念の普遍性と手段の有効性をどう見るか、毛里和子・園田茂人編著、中国問題—キーワードで読み解く、査読無、巻なし、2012、303-324
- ⑪青山瑠妙、中国のエネルギー安全保障と日中関係、植木（川勝）千可子・本多美樹編『北東アジアの「永い平和」』、査読無、巻なし、2012、223-249
- ⑫青山瑠妙、海洋主権—多面体・中国が生み出す不協和音、毛里和子・園田茂人編『中国問題—キーワードで読み解く』、査読無、巻なし、2012、177-202
- ⑬青山瑠妙、「アジア・アフリカ」、「アジア太平洋」から「アジア」へ—アジアにおける中国の多国間協力、梅森直之・平川幸子・三牧聖子編『歴史の中のアジア地域統合』、査読無、巻なし、2012、43-65
- ⑭青山瑠妙、中国の広報文化戦略、三田評論、査読無、159、2012、28-34
- ⑮加茂具樹、生き残り戦略の継承と発展、国際問題、査読無、610、2012、4-18
- ⑯阿古智子、中国の「公民社会」と民主化の行方—曲折するソーシャルメディアと政治制度改革の関係、国際政治、査読無、No.168、2012、45-59
- ⑰高原明生、現代中国史における一九七八年の画期性について、加茂具樹・飯田将史・神保謙編著『中国 改革開放への転換—「一九七八年」を越えて』、査読無、巻なし、2011、121-136
- ⑱巖善平、中国大城市労働力市場の結構転型、管理世界（国務院発展研究中心・中国語）、査読有、第9期、2011、53-62
- ⑲園田茂人、中国城市中“階級意識”社会的出現：基於天津市跨時分析（1997-2008）、中国研究、査読有、11・12、2011、143-151
- ⑳唐亮、現代化的政治経済学和中国模式的有効性評価、馬克思主義与現実、査読有、第113巻、2011、175-182
- ㉑武田康裕、ビルマ（ミャンマー）・カンボジア—分断社会における国民統合と民主主義、山影進・広瀬崇子編著『南部アジア』、査読無、巻なし、2011、165-181
- ㉒武田康裕、新興国概念の整理—新興国外交のための予備的考察、平和・安全保障研究所編『台頭する新興国と日本外交』、査読無、巻なし、2011、2-21
- ㉓武田康裕、日本の新興国外交、平和・安全保障研究所編『台頭する新興国と日本外交』、査読無、巻なし、2011、79-86
- ㉔青山瑠妙、海洋主権と中国の政策、学術研究（人文科学・社会科学編）・早稲田大学教育・総合科学学術院、査読無、60、2011、267-283
- ㉕青山瑠妙、アジア冷戦の溶融としてのニクソン訪中と田中訪中、和田春樹ほか編『東アジア現代通史 8 ベトナム戦争の時代』、査読無、巻なし、2011、312-334
- ㉖青山瑠妙、中国「アジア一体化」の戦略と実像、現代中国（日本現代中国学会）、査読無、85、2011、17-33
- ㉗青山瑠妙、領土問題と中国の外交、中国年鑑 2011 特集：波立つ海洋・動き出す内陸（中国研究所）、査読無、巻なし、2011、38-44
- ㉘青山瑠妙、分断化した権威主義体制における中国のメディア、学術研究—複合文化学編、査読無、巻なし、2011、1-15
- ㉙加茂具樹、中国共産党と人民代表大会代表—党の領導と人代代表の利益表出、現代中国研究、査読無、29、2011、4-15
- ㉚加茂具樹、現代中国の地方権力機関の政治的構造、国際情勢、査読無、第81巻、2011、31-54
- ㉛加茂具樹・土屋大洋、現代中国地方政治における政治的つながりの可視化、KEIO SFC JOURNAL、査読有、第10巻第2号、2011、83-100
- ㉜Yasuyuki MIYAKE、New Initiatives in Administrative and Fiscal Reforms in China, East Asia Policy (Jul/Sep 2011)、査読有、Vol.3 No.3、2011、79-87
- ㉝中岡まり、「中国地方人民代表大会選挙における「民主化」と限界—自薦候補と共産党のコントロール」、アジア研究、査読有、

第 57 卷第 2 号、2011、1-18

- 34 阿古智子、他者と出会い、自己を模索する
エスノグラフィーの旅—中国の学校、コミュニ
ティ、工場での経験から—、鴨川明子
編著『アジアを学ぶ 海外調査研究の手
法』、査読無、巻なし、2011、87-99
- 35 阿古智子、エイズ問題から捉える中国の政
治社会変動、天児慧編著『アジアの非伝統
的安全保障Ⅱ 中国編』、査読無、巻なし、
2011、131-152
- 36 阿古智子、中国の NGO 職員の政治意識は革
新的か—2009 年アンケート調査から—、菱
田雅晴編著『中国共産党のサバイバル戦
略』、査読無、巻なし、2011、467-498
- 37 阿古智子、中国における労働問題——国を
越えた連携に向けて、浅田秀次郎編著『グ
ローバリゼーションとアジア地域統合』、
査読無、巻なし、2011、210-231
- 38 嚴善平、中国における農村貧困削減の取り
組みと成果、中国研究月報、査読有、第 64
巻第 6 号、2010、1-13
- 39 Shigeto Sonoda, “Emergence of Middle
Classes in Today’s Urban China: Will
They Contribute to Democratization in
China?”, *International Journal of
China Studies Special Issue: China in
Transition: Social Change in the Age of
Reform*, 査読有、Vol. 1, No. 2, 2010, 351-369
- 40 武田康裕、経済と安全保障の相互作用、国
際安全保障、査読有、38、2010、1-10
- 41 青山瑠妙、日本の中国観の変遷と日中関係、
王緝思、ジェラルド・カーティス、国分良
成編『日米中トライアングル：3カ国協調
への道』(岩波書店)、査読無、巻なし、2010、
233-255
- 42 阿古智子、現代中国における維権(権利擁
護)運動—その実態と影響、国際問題、査
読無、4月号 No. 590、2010、15-25

[学会発表] (計 55 件)

- ① Tomoki Kamo, Dancing with Local People
’s Congresses: What Are the Roles of
the Chinese People’s Political Consul
tative Conference?, 2013 Annual Con
ference, Western Political Science
Association, 2013年3月28日、LA (米国)
- ② 中岡まり、「成功した」選挙と党の支配の
正当性—2011年北京市区県人大直接選挙
を例に、アジア政経学会2012年度全国大会
、2012年10月13日、関西学院大学(兵庫)
- ③ Tomoki Kamo, How China’s Democratic
Institutions Represent and Coordinate
the Interests of Local Communities?,
2012 Annual Conference, European
Association for Chinese Studies (EACS)、
2012年9月1日、パリ(フランス)
- ④ Shigeto Sonoda, Can Singapore Model be
a Model for China?, The 5th Internati
onal Forum for Contemporary Chinese S
tudies, Contending Models for China’s
Future Development: Society Building
and Governance, 2012年8月8日、School
of Humanities and Social Sciences, Be
ijing University of Technology (中国)
- ⑤ 三宅康之、中国の新たな地方行財政制度改
革、日本学術会議「アジアの大都市制度と
経済成長に関する検討委員会」(招待講演)、
2012年7月12日、日本学術会議(東京都)
- ⑥ 高原明生、China’s Domestic Policy
Challenges, International Symposium
China’s Role in Asia: Recent Approach
es in Germany and Japan’, 2012年7月8
日、国際文化会館(東京都)
- ⑦ 嚴善平、農家世帯員の教育形成とそのメカ
ニズム: 農家調査のマイクロデータに基づく、
中国経済学会大会、2012年6月24日、立
正大学(東京)
- ⑧ 加茂具樹、中国共産党の議会、日本比較政
治学会、2012年度研究大会、2012年6月
24日、日本大学(東京都)
- ⑨ TAKAHARA Akio, “Whither China?: Inter
nal Debates and their Reflections on
Diplomacy”, Asian Studies Seminar Ser
ies, 28 May 2012, University of Cambri
dge (英国)(招待講演)
- ⑩ 園田茂人、Is Grassroots Election A
School for Democracy?, IOS-IASA 3rd Joint
Workshop of Young Sociologists, 2012年
3月19日、中央研究院社会学研究所、台湾
- ⑪ Tomoki Kamo, Central-Local Relations in
the Local People’s Congress in China,
Association for Asian Studies 2012
Annual Conference, March 18, 2012,
Toronto, Canada
- ⑫ Tomoki Kamo, Collaboration with the Local
Committees of Chinese People’s Political
Consultative Conference and the Local Peo
ple’s Congress, SMU-Keio Workshop on
Chinese Politics, 2012年1月7日、Dallas
(USA)
- ⑬ 小嶋華津子、The Search for Political Par
ticipation with Chinese Characteristics,
SMU-Keio Workshop on Political Partici
pation in Contemporary China, 2012年1月6
日、Southern Methodist University (USA)
- ⑭ 中岡まり、Roles of the People’s Con
gress under the Authoritarian Regime,
SMU-Keio Workshop on Chinese Politics,
2012年1月6日、South Methodist Universi
ty (USA)
- ⑮ Tang Liang (唐亮)、The Construction of
the New International Order in East Asia
with Rising China, 2011年12月3日、

Zhejiang University, Hangzhou, China

①⑥ 高原明生、中国の自己認識と外交安保政策—世界金融危機以後の国内論争、日本国際政治学会 2011 年度研究大会共通論題、2011 年 11 月 12 日、つくば国際会議場（茨城県）

①⑦ 阿古智子、ネット世論の高まりにみる中国の「民主」、国際政治学会、2011 年 11 月 11 日、つくば国際会議場（茨城県）

①⑧ 園田茂人、城郷遷移影響社会安定? : 中国の個案研究、淡江「全球未来」人文系列演講、2011 年 10 月 23 日、淡江大学体育館（中国）

①⑨ 巖善平、これからの東アジア経済と日本農業—中国経済を中心に—、地域農林経済学会、2011 年 10 月 22 日、愛媛大学

②⑩ 三宅康之、中国の新たな地方行政制度改革、日本政治学会、2011 年 10 月 8 日、岡山大学（岡山市）

②⑪ 園田茂人、『全球化』という中国的経験、日本社会学会第 83 回大会・公開シンポジウム「グローバル化する世界：何を問うべきか」、2010 年 11 月 7 日、名古屋大学

②⑫ 阿古智子、新世代農民工が与えるインパクト、日本現代中国学会第 60 回全国学術大会、2010 年 10 月 17 日、中央大学

②⑬ 青山瑠妙、中国の「アジア一体化」戦略、日本現代中国学会第 60 回学術大会、2010 年 10 月 16 日、中央大学多摩キャンパス

②⑭ 三宅康之、New Initiatives in Administrative and Fiscal Reforms of China、EAI Seminar、2010 年 10 月 8 日、シンガポール国立大学（シンガポール）

②⑮ 加茂具樹・土屋大洋、人民代表大會代表的作用、當代中國大陸問題研討會：台灣與日本學者的對話、2010 年 9 月 18 日、台北、國立政治大學（台湾・中国）

②⑯ KAMO Tomoki、"Central-Local Relations in the Local People's Congress in China"、American Political Science Association、2010 年 9 月 4 日、Washington DC（米国）

②⑰ Shigeto Sonoda、Different Perceptions of Social Inequality in China, India, and Russia、中国社会学会 2010 年年次大会、2010 年 7 月 25 日、ハルビン（中国）

②⑱ Shigeto Sonoda、Emergence of Middle Classes in Today's Urban China、International Symposium China in Transition、2010 年 7 月 21 日、University of Malaya（マレーシア）

②⑲ Akio Takahara、Ongoing Discourse on the 'Chinese Model'、EAI Distinguished Public Lecture、2010 年 6 月 4 日、シンガポール国立大学東亜研究所（シンガポール）

〔図書〕（計 30 件）

① 巖善平、東京大学出版会、「第 3 章 農民工—定住か、それとも帰郷か?」毛里和

子・園田茂人編『中国問題—キーワードで読み解く』、2013、360

② 巖善平、東洋経済新報社、「第 9 章 流動人口の住宅問題—上海市の事例を中心に」南亮進・牧野文夫編『中国経済の転換点』、2013、264

③ 園田茂人編、勁草書房、リスクの中の東アジア、2013、268+6

④ 高原明生（共編）、東京大学出版会、『日中関係史 1972—2012 I 政治』2012、510

⑤ 巖善平、勁草書房、「第 1 章 労働需給と賃金上昇—現状と展望」渡辺利夫監修・大橋英夫編『変貌する中国経済と日系企業の役割』、2012、220

⑥ 巖善平、御茶の水書房、「第 7 章 中国の三農問題と都市農村格差」横田伸子他編『東アジアの格差社会』、2012、262

⑦ 小嶋華津子（高原明生・服部龍二編）、東京大学出版会、『日中関係史 1972—2012 I 政治』、2012、510

⑧ 毛里和子・園田茂人編、東京大学出版会、中国問題：キーワードで読み解く、2012、333+6

⑨ 園田茂人編、東京大学出版会、日中関係史 1972—2012 3 社会・文化、2012、365+24

⑩ 唐亮、岩波書店、現代中国の政治：「開発独裁」とそのゆくえ、2012、256

⑪ 武田康裕・武藤功、毎日新聞社、コストを試算！日米同盟解体、2012、206

⑫ 青山瑠妙・崔 pi、早稲田大学現代中国研究所、グローバルヒストリーとしての冷戦と中国の外交、2012、130

⑬ 加茂具樹、東京大学出版会、『日中関係史 1972—2012 政治』、2012、13+501+37

⑭ 阿古智子、東京大学出版会、「土地と戸籍—社会秩序の安定剤か?」『中国問題』、2012、360

⑮ 巖善平、NIHU 現代中国早稲田大学拠点 WICCS 研究シリーズ、『現代中国農家の人口と労働—農家調査のマイクロ・データに基づいて』、2012、147

⑯ 園田茂人編、勁草書房、勃興する東アジアの中産階級、2012、257+18

⑰ 加茂具樹・小嶋華津子・星野昌裕・武内宏樹、慶應義塾大学出版会、党国体制の現在社会の変容と中国共産党の適応、2012、280

⑱ 高原明生・大橋英夫・園田茂人・茅原郁生 明日香壽川・柴田明夫監修、講談社、10 年後の中国：65 のリスクと可能性、2011、322

⑲ ステファン・ハルパー（園田茂人・加茂具樹訳）、岩波書店、北京コンセンサス：中国流が世界を動かす?、2011、260+29

⑳ 唐亮、岩波新書、「改革開放時代の中国政治をどう捉えるか」国分良成編『中国は、いま』、2011、247

㉑ 加茂具樹・飯田将史・神保謙、慶應義塾大学出版会、中国 改革開放への転換：「一

- 九七八年」を越えて、2011、412
- 22 趙宏偉・青山瑠妙・益尾知佐子・三船恵美、明石書店、中国外交の世界戦略一日・米・アジアとの攻防30年、2011、315
- 23 三宅康之、East Asian Institute, National University of Singapore, New Initiatives in Administrative and Fiscal Reforms of China (Background Brief Papers No. 599)、2011、12
- 24 巖善平、晃洋書房、中国農民工の調査研究—上海市・珠江デルタにおける農民工の就業・賃金・暮らし、2010、281
- 25 園田茂人・新保敦子、岩波書店、叢書中国の問題群8 教育は不平等を克服できるか、2010、176
- 26 園田茂人、早稲田大学現代中国研究所、天津市定点観測調査(1997-2010)、2010、213
- 27 唐亮、アジア経済研究所、「党国家の変容と報道改革の推進」『中国・調和社会構築の現段階』、2010、170
- 28 唐亮、社会科学文献出版社、「体制転型的模式、初期条件と社会主義国家的転型」『当代中国政治研究報告』、2010、282

6. 研究組織

(1) 研究代表者

高原 明生(TAKAHARA AKIO)
東京大学・大学院法学政治学研究科・教授
研究者番号：80240993

(2) 研究分担者

巖 善平 (GEN ZENPEI)
同志社大学・大学院グローバル・スタディーズ研究科・教授
研究者番号：00248056

小嶋 華津子 (KOJIMA KAZUKO)
慶応義塾大学・法学部・准教授
研究者番号：00344854

園田 茂人 (SONODA SHIGETO)
東京大学・大学院情報学環・教授
研究者番号：10206683

唐 亮 (TOU RYO)
早稲田大学・政治経済学術院・教授
研究者番号：10257743

武田 康裕 (TAKEDA YASUHIRO)
防衛大学校・人文社会科学群・教授
研究者番号：10545817

青山 瑠妙 (AOYAMA RUMI)
早稲田大学・教育総合科学学術院・教授
研究者番号：20329022

加茂 具樹 (KAMO TOMOKI)
慶應義塾大学・総合政策学部・准教授
研究者番号：30365499

三宅 康之 (MIYAKE YASUYUKI)
関西学院大学・国際学部・教授
研究者番号：50363908

中岡 まり (NAKAOKA MARI)
常磐大学・国際学部・講師
研究者番号：80364488

阿古 智子 (AKO TOMOKO)
早稲田大学・国際教養学術印・准教授
研究者番号：80388842

(3) 連携研究者

なし

(4) 研究協力者

白 智立 (BAI ZHILI)
北京大学・政府管理学術院・教授

陳 家喜 (CHEN JIAXI)
深圳大学・管理学院当代中国研究所・教師

郎 友興 (LANG XOUXING)
浙江大学・公共管理学院・教師

王 璞 (WANG PU)
同濟大学・文化批評研究所・副教授

熊 培雲 (XIONG PEIYUN)
南開大学・新聞学部・副教授

鄧 科 (DENG KE)
「南方週末」編集委員兼北京新聞中心・主任

周 俊 (ZHOU JUN)
浙江大学・公共管理学術・准教授

陳 文 (CHEN WEN)
深圳大学・当代中国研究所・准教授

薄 智躍 (BO ZHIYUE)
シンガポール国立大学・東アジア研究所・シニア・リサーチ・フェロー

賈 義猛 (JIA YIMENG)
南開大学・周恩来政府管理学院・准教授

楊 学林 (YANG XUELING)
北京市首信律師事務所・弁護士

鄭 世平 (ZHENG SHIPING)
作家・社会活動家

王 振宇 (WANG ZHENYU)
義派弁護士事務所代表・中国政法大学・公共決策研究中心・副主任

何 俊志 (HE JUNZHI)
復旦大学・国際関係公共管理学院・准教授

李 輝 (LI HUI)
復旦大学・国際関係公共管理学院・専任講師

汪 仕凱 (WANG SHIKAI)
華東政法大学・政治学研究所・副研究員

吳 薇 (WU WEI)
国際伝播促進中心・メディアアドバイザー

阿南 友亮 (ANAMI YUSUKE)
東北大学・大学院法学研究科・准教授
研究者番号：50365003

佐藤 考一 (SATO KOICHI)
桜美林大学・リベラルアーツ学群・教授
研究者番号：80296409